



大 津 朝



千葉県助産師会

第 39 号 令和 4 年 12 月

1. 会長挨拶

(一社) 千葉県助産師会 会長 武田 智子 4 地区 八千代マタニティーセンター武田助産院

これから冬の時期となり、新型コロナウイルス感染症の増加傾向が予測され、インフルエンザの流行と重なることが懸念されます。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス陽性の妊産婦さんに対して「寄り添い型支援」をうまく活用するために、医療機関との連携を保ち、精神的安定を確保できるよう引き続き感染対策を考慮しての行動をお願いいたします。

3 年ぶりに九都県市合同防災訓練が 10 月 23 日(日)大網白里アリーナにて行われ、災害対策委員、協力会員とともに参加してきました。県知事に要望書にも挙げている災害時における「母子避難所」の併設を、重ねてお願いしました。

政府は補正予算において妊娠した女性を対象に「出産準備金」10 万円をクーポンで対応、さらに「出産一時金」増額、0～2 歳児までの支援が手薄になっているとして保健師や助産師が1対1で母親の相談にのる「伴走型相談支援」も創設する方針のようです。

妊産褥婦に対していろいろな支援が行われますが、各項目を理解し活動することが期待されています。皆様のご協力のもとさらに助産師会を周知していただけるようお願いいたします。

<千葉県医療推進協議会に 8 月 27 日に参加いたしました。>

平成 31 年から千葉県の医療関係機関 17 団体が集結して会を結成した中に助産師会として参画しています。千葉県民の健康増進と福祉の向上を図るため、千葉県における医療・介護・保健及び福祉行政拡充強化を目指して、諸活動を推進することを目的として設立されました。

まずは助産師会を周知すると同時に各団体へ顔の見える関係強化を推進していきたいと思っています。



千葉県知事・看護協会会長・医師会会長と

CONTENTS

1. 会長あいさつ	1
2. 九都県市合同防災訓練	2
3. 生と性の健康教育委員会	3
4. 助産所部会	4～5
5. 教育委員会	6
6. 会計からのお知らせ	7
7. 編集後記	8

2. 九都県市合同防災訓練

災害対策委員会委員長 塩見 良子 2 地区

10 月 23 日(日)大網白里市(千葉県会場)で行われた「九都県市合同防災訓練」に参加しました。これまで毎年行われていたこの訓練は、ここ数年コロナ禍で中止になり、来賓や地域住民、一般参観者を交えての開催は 3 年ぶりとなりました。

避難所訓練では、地域住民の方への啓蒙活動として、災害時、母子は要支援者であること、災害時に助産師も活動していること、などをアピールしてきました。防災フェアでは、身近なもので作成できる災害時用ポンチョやおむつ、災害時にはいろんな使い方ができるさらしの活用法などの紹介をしました。今回はベビーリース、アサヒグループ食品株式会社(和光堂)、AMOMA 等の企業様から試供品を提供していただき、来場者の皆様にとっても喜んでいただくことができました。

来場者の様子を見ていると、災害への危機感を持って訓練に参加している方が多くみられ、「防災リュック用意して玄関に置いているよ」などの声もあり、防災への意識が高まっていることを実感することができました。

助産師会としては、千葉県知事に直接、母子専用の「母子福祉避難所の開設」をお願いし、地域の皆様にも災害時に助産師が活動していることをアピールすることができ、参加してよかったと思っています。

最後に、九都県市合同防災訓練に参加するにあたり、ご尽力いただいた千葉県や大網白里市の皆様、試供品をご提供くださった企業様、各地区の協力員の皆様に心より感謝申し上げます。



千葉県助産師会は

避難所設営訓練と防災フェアに参加しました！
延べ 227 人の方が立ち寄ってくれました！

		避難所訓練	防災フェア
大人	男性	40人	23人
	女性	50人	43人
子ども	乳幼児	10人	
	幼児	21人	8人
	小学生	18人	12人
	中学生	2人	

熊谷県知事に助産師会を
アピールしている武田会長



3. 生と性の健康教育委員会

生と性の健康教育委員会委員長 小路 和子 1地区 和(なごみ)助産院

生と性の健康教育委員会では、7月17日に「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」の理解をテーマに、オンライン研修会を開催いたしました。参加者は32名でした。(保健指導部会 64.7%、勤務部会 23.5%、助産所部会 11.8%、健康教育に携わっている人 52.9%、携わっていない人 47.9%)

“国際セクシュアリティ教育ガイダンス”を日々の母子保健活動の中でどう活かすのか？その理解を今一度深める為に、まず川島広江さんから、「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」の理解」と題し、「セクシュアリティ教育ガイダンス」に示された内容を、「妊娠期から」「子どもが小さい時から」、助産ケアの1つとして積極的に提供することにより、豊かなセクシュアリティで生きることが可能であるのではないかということ、その具体策についてお話いただきました。続いて、増田文子さんから「行政との打合わせの機微」と題し、浦安市との交渉についての実際を学び、鶴岡利江子さんから「学校との打合わせの機微」と題し、学校現場での実際について学びました。内容の詳細につきましては、後日ニュースレターを会員メールで配信致しますので、ぜひご一読くださいませ。

以下はご参加いただいた方からの感想です(一部抜粋) ご参集くださったみなさま、ありがとうございました。

・川島さんからの“国際セクシュアリティ教育ガイダンス”に関するお話は、講座で何度も拝聴していますが、何度拝聴しても新たな知識を頂いているかのように、そのたびに理解を深めていると感じています。増田さん鶴岡さんのお話は、とても衝撃でした。学校や行政との関わり方がとても丁寧でした。ものすごく勉強されて、地道に努力されているのがよくわかりました。なかなか学校教育の指導要領などが変わらないなら、少しでも“国際セクシュアリティ教育ガイダンス”に近づける教育内容を、子どもたちに伝えていける外部講師になりたいと思いました。とても有意義な時間でした。

・「機微」というタイトルの通り、細かなところや態度・姿勢みたいなどころから、性教育は始まるということがよくわかりました。また世界の潮流もキャッチしながら、日々の性教育をブラッシュアップしていく大切さも実感いたしました。

・難しい内容も噛み砕いてお話してくださりととてもわかりやすかったです。常に進化し続けているので、定期的に更新、学んでいく必要性を感じました。

・ガイダンスの読み方がわかり、理解度が深まった。学校の前にできることがある、地域にも教育の場はある、行政のビジョンと助産師のビジョンの差異(偏見は持たない)など、「セクシュアリティ教育」と切り取るのでは無く、人の営みの中に当たり前でセクシュアリティ教育はあるという認識に変わり、日々の活動(新生児訪問でも伝えることはいっぱいある)に活かしていきたいし、これからも学び続けていきたい。

・現在母乳育児相談を主にやっておりますが、元々は性教育に興味があり、つきつめると母乳育児になったことを思い出しました。最近、母乳相談の看板を掲げていると、母乳の話のみ…、となりがちですが、以前はおっぱいをみながら、赤ちゃんのこと、夫婦のこと、嫁姑問題、仕事のこと、もちろん性や性教育までいろんな相談を受けていたことを思い出しました。これからもまた、在りし日のように、母親の萬相談所になれるよう知識をリニューアルしながら頑張りたいです。(講師の皆さんの努力に刺激を受けました！) まずは、母乳育児を通して、あるがままの我が子を慈しみ育て、育てられる経験ができるように母子の支援をしていきたいです。

4. 助産所部会

助産所部会会長 小柴 和子 9地区 キミツナカノ助産院

8月8日(月)助産所部会主催の研修会を千葉市生涯学習センターにて開催しました。コロナ禍でもあった為、人数制限や消毒・検温など感染症対策を徹底した上での対面型研修会でした。

午前は、『骨盤ケア』で、あびこ助産院院長 米丸充咲氏が担当し、参加者6名(会員6名)。内容は、助産師が行う骨盤ケアの基礎編として、最初にトコちゃんベルト(骨盤ベルト)の締め方、それを代用するさらしを使った研修をしました。これは参加者から「今更だけど、正しい付け方をもう一度知りたい」というリアルな声が上がったからです。少人数での開催は、参加者の一つ一つの疑問に沿った研修ができるのが強みです。その後、骨盤ケアの効果、開始時期、体の見方、骨盤調整の仕方、妊娠中のマイナートラブルの予防や改善に役立つ説明と演習も行いました。受講後の感想として、「具体的な手の力加減や巻き方のアドバイスをもらえた」「乳房ケアにも対応できるとわかったので、取り入れていきたい」とありました。



午後は『助産院で行われているフリースタイル出産』についてキミツナカノ助産院院長、テルミー療術師の小柴が担当し、参加者は7名(会員5名、非会員2名)でした。産婦さんを固定しないフリースタイル分娩は産婦さんの動きに合わせて介助者が動くマファーストでもあります。フリースタイル分娩では、自然と四つ這いになる方が多く、四つ這いときの心音聴取のコツ、安全確実に赤ちゃんをキャッチするコツ、会陰を伸ばすコツ、また、馴染みのない体位の時に、どのように分娩清潔野を作るか、サポートに入る外回り助産師がどのように動いたらメイン助産師が安全に安心して分娩介助が行えるか、そして何より心音の健全性を保つにはどうしたら良いかをお伝えしました。手作り穴あきズボンを履き、新生児の人形モデルを使って実際に分娩介助を解説付きの劇の様に行いました。受講後の感想には、「リラックスできる環境の重要性を再認識した」また「病院内であっても工夫出来る所があるという気づきがあった」とありました。



今回、“直接会う”という人と人との交流の中で、お互いに学び合い、知識や技術や意識の高い仲間と交流するチャンスに恵まれました。かつて私達は、先人達から直接指導してもらい、直接の接触を通じて、アイデアや情報を交換する事が出来ました。アイデアは、心理的安全性があり(ちょうど前半は身体を動かす『骨盤ケア』の実践があり、身体がほぐれていた)自由な雑談の中から、思いがけず生まれてくる事をよく感じます。～文化がヒトを進化させた ジョセフ・ヘンリック 今西康子訳より～ では、『集団の規模が縮小したり、社会的な結びつきが失われたりすると、世代を経るうちに、それまで受け継がれてきた智恵がどんどん失われていく。イノベーションは、自由に意見を交わし、遠慮なく反論し、相互に学び合って、協力関係を築き、外部の者も信頼して、試行錯誤を重ねていく。その様な能力と意欲から生まれる。多数の頭脳が自由に情報をやり取りできる大きなネットワークがイノベーションを起こす。』とあります。

今現在、千葉県内でお産を扱う助産院は、11件(出張2件を含む)まで減少してしまいました。また、今年の6月末時点の出生数は38万4942人と発表がありましたので、恐らく年間80万人にはとどかないでしょう。1980年(157万6889人)と比べるとほぼ半減、2015年(100万5677人)と比べてもたった7年で2割も減少しそうです。貴重な妊婦さんと赤ちゃんを妊娠中から大切に育て、守ることが急務です。妊婦ケアの重要性は増し、妊娠中からの継続した関わりと分娩時の手厚いサポートがカギとなるでしょう。産後ケアだけではなく助産師による妊婦ケアも公費で賄えるようになることより安全なお産が増えるのではないのでしょうか。それぞれ今いる立場で、出来ることをサポートしていく。これさえすればと言う必殺技ではなく、体操やフィギュアスケートの加点方式の様に1点1点積み上げていく様なイメージです。今回の研修会を立案するに当たって、どうしても開催したいと思った理由があります。それは、先輩達から受け継いだもの、受け継いで自分なりに試行錯誤や改良加えたものを「次の世代に渡しておきたい」と仲間と検討する中で閃いたからです。又、フリースタイル出産の心得は、災害の時にも役立つお産の技術と確信しています。女性と子どもに優しい自然なお産が増えることを願って止みません。

私の願いは、“誰が産もうと、いつ産もうと、どこで産もうと、暖かいケアとまなざしの中、安全で楽で豊かなお産となること”です。助産師が集まって知恵を出し合う。アイデアを出し合う。それが渦になって流れができると、母子のケアと豊かな親子関係につながると信じています。豊かなお産を体験した母子達は、次の世代にまた伝えていってくれるでしょう。来年度も皆様とお会いできるよう妊娠中の妊婦ケアの研修会を計画中です。私達はこれからも先輩達から受け取った助産の知恵と技術と文化を伝えていきます。

5. 教育委員会

教育委員会委員長 山田 万希子 6 地区 城西国際大学看護学部

教育委員 古賀 千恵子 5 地区 にじいろ助産院

令和 4 年 9 月 18 日(日)教育委員企画のオンライン研修会の報告を致します。

午前は「知っていますか？歯周病と早産リスクー妊娠中の歯科診療と禁煙支援のポイントー」を岡山市にある三宅ハロー歯科の滝川雅之先生のお話を伺いました。滝川先生は三宅医院(産婦人科、小児科、形成外科)三宅おおふくクリニック(婦人科、内科等)と連携した歯科医院で「妊娠期からスタートする家族の口腔の健康づくり」に取り組んでおられます。喫煙妊婦には、たばこの胎児への影響について、胎児の脈拍が徐脈になってしまう映像なども交えて説明をされていました。妊娠中に口腔ケアをすることで、妊娠関連性歯周炎を改善し、早産のリスクを低減させるだけでなく、むし歯原因菌の母子伝播予防につながります。岡山市では妊婦だけではなく、パートナーにも無料で歯科健診が出来るそうです。近年、歯周病と生殖機能との関連を示す論文もあり、不妊治療にも寄与することが期待されています。



午後は「最新！子宮頸がん予防ーワクチン接種を考えている母娘に向けて助産師ができることー」を大阪大学大学院医学系研究科の上田豊先生のお話を伺いました。世界が HPV の排除に向けて進んでいる中、日本は先進国の中でも子宮頸がんの罹患率が高い状況が続いています。スウェーデンの調査で、16 歳以下でワクチンを打った人は子宮頸がん罹患率がほぼゼロであり、定期接種の期間内で接種する必要性を感じました。また、個別の案内が送られただけではワクチン接種に至らず、医療従事者からの説明や情報提供があると接種の意向が高まるという報告もあり、専門職としてワクチン接種の必要性を伝えていきたいと思いました。はじめての子宮がん検診について、若年女性は約 59%が母親に相談するという報告もあり、親を介しての勧奨も必要だと考えます。先生から沢山の資料と受け、子宮頸がん排除のためにできることを考える貴重な機会となりました。



6. 会計からのお知らせ

1. 令和5年度年会費の口座振替日は、2月24日(金)です。

日本助産師会 15,000 円 + 千葉県助産師会 8,000 円 = 23,000 円 が引き落としされますので、残高不足がないよう前日までに確認をお願いします。

2. 現在口座振替手続きをされていない方へ

・年会費の払込取扱票を同封しました。なるべく2月24日までに入金をお願いします。

・日本助産師会から預金口座振替依頼書が郵送されます。この機会にぜひ、口座振替にご協力をお願い致します。(令和4年12月28日までに日本助産師会へ返送されますと、令和5年度会費から口座振替が可能となります。)

・令和4年12月28日までに口座手続き完了された方は、同封の払込取扱票は破棄してください。(二重入金防止のため)

3. 令和4年度末(3月31日)までに退会・他県への移動をすることがお決まりの方は、12月28日までに手続きをお願いします。

手続き方法

- 1) 日本助産師会機関誌「助産師」の巻末の変更届・退会届を利用して申請する。
- 2) 会員マイページから申請する。

4. 退会・移動の申請が4月1日以降になりますと、会費の返金はできません。

決定している方はお早めに手続きをお願いします。

5. 会費の領収書について


日本助産師会・千葉県助産師会の年会費領収書は、会員マイページからダウンロード・印刷をお願いします。

水 と 、 空 気 と 、 睡 眠 と 。



TUK 東洋羽毛

私たちは、いまは 離 れ る こ と で 医療従事者の皆様を応援しています。

東洋羽毛北関東販売株式会社 千葉営業所
〒285-0815 千葉県佐倉市城354-8  0120-006-745



お知らせ



1. 研修会について

※詳細は千葉県助産師会ホームページ("http://www.midwife-chiba.org")にてご確認ください。

開催日	時間	研修会名	場所	担当
1月29日(日)	13時30分～16時30分	赤ちゃんと家族の響きあう こころを支える 講師 大橋優紀子氏	ZOOM	教育委員会
2月5日(日)	午前(6名) 午後(6名)	NCPR Sコース② スキルアップ認定講習 講師 玉野あや乃氏 他	千葉市民会館	教育委員会

2. 理事会の日程 令和5年1月～3月

	開催日	時間	場所
第6回	1月22日(日)	9時30分～12時30分	オンライン
第7回	2月19日(日)	9時30分～12時30分	オンライン
第8回	3月12日(日)	9時30分～12時30分	千葉市美浜文化ホール 会議室

3. INFORMATION

- ・令和4年度 菜の花会について・・・中止になりました。
- ・令和5年度 一般社団法人千葉県助産師会 総会について・・・令和5年4月29日(土)開催予定
- ・助産師の電話無料相談(ミッドワيف千葉)の令和5年度協力員募集しております。ご協力をお願いします。

【庶務からのお知らせ】

- * 助産所賠償責任保険の資料を希望の方はウーベル保険会社へお問い合わせください。TEL:03-3553-8552
- * 地区を変更希望の方は、現在の地区会長さんへお伝えください。
- * 住所変更氏名変更の事については、日本助産師会ホームページのマイページから変更をお願いいたします。

4. メーリングリストについて

- ・メーリングリストに登録すると助産師会と関連のある団体の研修会の案内等も届きます。

7. 編集後記

2022年も残りわずかとなりました。長く続いたコロナ禍でしたが、だんだんと世間も落ち着きを取り戻してきています。助産師会通常総会や研修も、コロナ以降、遠隔開催となりオンラインでの交流も定着しました。コロナ禍が齎した良い面での社会変化もありました。次年度からは、徐々に会場でのイベントも戻ってきます。コロナ禍で得たオンラインのスキルも活かしながら、実際の活動も楽しみたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

広報委員: 山本裕子・佐藤静子・齋藤明子・佐藤幸江